## 第5次中期経営計画

(令和6~8年度)



Sendai city Green Association

令和6年3月 公益財団法人仙台市公園緑地協会

第1章 (	はじぬ	めに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 1
1 - 1	計画	画策定の趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・	• 1
1 - 2	対象	象事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 1
(	(1)	公益目的事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 1
(	(2)	収益事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 1
(	(3)	組織経営 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 1
第2章	第5次	欠中期経営計画のビジョン・・・・・・・・・・	• 1
2 - 1	第∠	4次中期経営計画の振り返り・・・・・・・・・	• 1
(	(1)	概括・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 1
(	(2)	予算の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 2
(	(3)	決算の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 2
(	(4)	収益事業等会計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 3
(	(5)	重点取組項目の成果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 4
2-2	第∠	4次中期経営計画の振り返りのまとめ・・・・・・	• 7
(	(1)	経営基盤と持続可能な組織運営・・・・・・・・	• 7
(	(2)	都市における公園緑地等の価値の向上・・・・・・	• 7
(	(3)	利用者視点での情報発信・・・・・・・・・・・	• 8
(	(4)	計画的な資金調達の必要性・・・・・・・・・・	• 8
(	(5)	市民協働プラットフォームの運営・・・・・・・	• 8
	(6)	安全安心に向けた取り組みの強化・・・・・・・	• 8
(	(7)	収益と利用者サービスの向上・・・・・・・・	• 9
(	(8)	組織運営の強化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 9
2-3	本協	協会を取り巻く社会状況と協会の強み・・・・・・・	• 10
(	(1)	本協会を取り巻く社会状況 ・・・・・・・・・	• 10
(	(2)	本協会の強み ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 11
2-4	第5	5次中期経営計画・・・・・・・・・・・・・	• 12
(	(1)	基本方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 12
(	(2)	計画期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 12
(	(3)	中期経営計画の戦略 ・・・・・・・・・・・	• 13
第3章 3	会計項	項目事業ごとの重点取組み事項と重点事業・・・・・	• 14
3-1	公主	益目的事業の重点取組み事項と重点事業・・・・・・	• 14
(	(1)	専門性・独自性を生かした事業の展開と質の向上・	• 15
(	(2)	新たな施設管理形態への戦略的な対応・・・・・・	• 17
(	(3)	市民・NPO・企業等との連携協力・・・・・・・	• 18
(	(4)	安全・安心に向けた取り組み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 19

3-2 収益事業の重点取組み事項と重点事業・・・・・・・・	20
(1) 収益率向上への取り組み・・・・・・・・・・	20
(2) 利用者サービスの向上・・・・・・・・・・・	21
3-3 組織運営の重点取組み事項と重点事業・・・・・・・・	22
(1) ガバナンス向上と社会貢献の推進・・・・・・・・	23
(2) 人材育成の充実・・・・・・・・・・・・・	24
(3) コスト削減の徹底・・・・・・・・・・・・	25
(4) 情報の積極的な発信・・・・・・・・・・・・	25
第4章 事業の進行管理・・・・・・・・・・・・・・・・	27
第5章 実施事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	28
5-1 公益目的事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・	28
5-2 収益事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	32
5-3 組織運営・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	33

#### 第1章 はじめに

#### 1-1 計画策定の趣旨

本協会は、都市緑化及び公園緑地等に関する事業を通して、市民生活に安らぎと潤いをもたらし、あわせて緑の文化を発信することを目的に、昭和 42 年 10 月に財団法人として設立された。その後、公園緑地等は利活用の観点から民間活力導入が始まり、指定管理制度や公園マネジメントが進展する一方、公益法人法の改正もあり、平成 24 年 4 月には公益財団法人としてスタートを切ることとなった。

近年では、民間活力による都市緑化や公園施設の管理運営はさらに進み、震災 や豪雨等の被害増大や感染症によるパンデミックの経験を通して、都市におけ る公園緑地等の緑の価値は進化を続けており、当協会への影響も大きい。

こうした社会情勢の変化に的確に対応するためには、本協会の自然環境や公園緑地に関する専門性や独自性、これまで培ってきた施設運営のノウハウ等の強みをさらに発展させると同時に、安定的な経営基盤を養成し、持続可能な運営を行っていくことが重要である。

本協会では、これまでも設立目的に沿った事業を展開し、質の高い利用者サービスの提供に努めてきたところであるが、改めて社会的役割を果たし、継続的で自律的な運営を行うため、本計画を策定するものである。

#### 1-2 対象事業

本協会の事業は、会計項目ごとに公益目的事業、収益事業、組織運営に大きく分けることができ、これらの全ての事業を中期経営計画の対象とする。

#### (1)公益目的事業

都市緑化及び公園緑地に関する普及啓発、利用促進事業

#### (2) 収益事業

公益目的事業の推進に資する事業

#### (3)組織運営

本協会の目的を達成するために必要な事業

#### 第2章 第5次中期経営計画のビジョン

#### 2-1 第4次中期経営計画の振り返り

#### (1) 概括

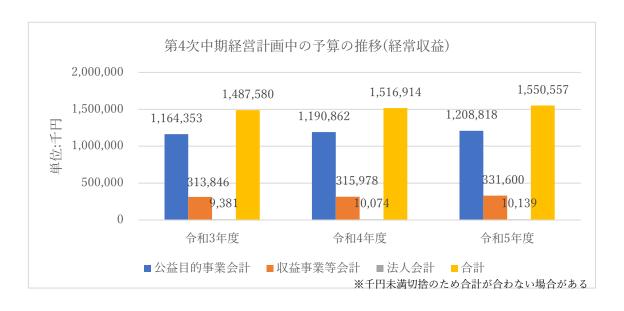
第4次中期経営計画(以下「第4次計画」と言う)は、令和3~5年度の3か年計画として策定している。

令和元年度第4四半期から始まった新型コロナ感染症の感染拡大は、第4次計画期間中にも猛威を振るい、中止せざるを得ない公益目的事業もあった。 計画期間中の当初予算は平年並みに確保することはできたが、動物公園等の 臨時休園にともない令和元年度に赤字に転じていた収益事業は、以降令和3年度まで3年間続き、新型コロナ感染症のパンデミックが本協会へ与えた影響は非常に大きかった。令和4年度後半になり感染拡大が収まるにつれて、収益事業はようやく黒字に回復することができた。令和5年度は、新型コロナの感染縮小の兆しが見えはじめ、全国都市緑化仙台フェアは予定どおり4月26日から6月18日まで開催された。本協会としても前年度から準備を進めていた事業を、仙台市と連携しながら、緑化フェアのメイン会場、連携会場、東部エリア会場で実施することができた。

#### (2) 予算の推移

本協会の会計は、公益目的事業会計、収益事業等会計、法人会計から構成され、公益法人として、収益事業の剰余金の50%を公益目的事業会計に繰り入れることとされており、事業の公益性を保つ仕組みとなっている。また、公益認定財務基準として、公益目的事業に係る収入が、その実施に要する適正な費用を賄う額を超えないとする収支相償、公益目的事業比率(公益目的事業会計/経常費用の合計)が50%以上であること、保有する遊休財産が公益目的事業会計の経常費用額を超えないことが事業の枠組みとしてある。

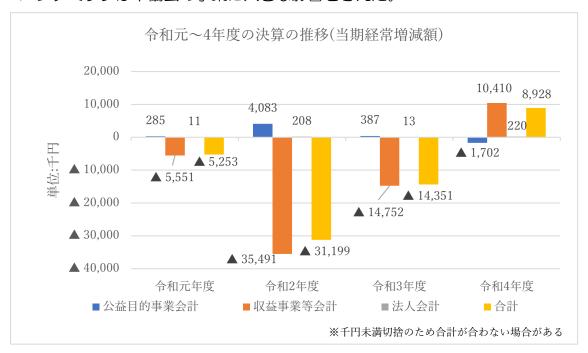
下図は第4次計画期間中の予算の推移であるが、コロナ禍ではあったが、継続的な予算措置が行われた。



#### (3) 決算の推移(令和元~4年度)

新型コロナ感染症の感染が拡大傾向を示した令和元年度から、感染が収まりつつある令和4年度までの決算は下図に示すとおりである。新型コロナの影響により本協会の事業は大幅に縮小され、収益事業は赤字に転じた。これにともない、公益目的事業会計への繰り入れができない状況が3年間続き、

自主事業の実施が厳しい状況となったが、令和4年度には新型コロナの感染が収縮傾向となり、収益事業は持ち直しをみせた。このように感染症によるパンデミックは本協会の事業に大きな影響を与えた。



#### (4) 収益事業等会計

本協会の収益事業は、収入全体の6割強を八木山動物公園における売店・ 食堂が占め、そのうち、春の大型連体の収入が年間収入の4分の1となっている。

下図に八木山動物公園入園者数と売店・食堂の収入を示すが、入園者数と収益が連動していることが改めてよくわかる。



動物公園の入園者数は、これまでも天候に左右されることがわかっていたが、例年は年度内である程度平準化されてきた。しかし、新型コロナの感染拡大は長期に渡り、収入が最も多い大型連体や夏休みが臨時休園となったことで入園者数は大幅に減少し、売店・食堂の収益も大きく落込んだ。

#### (5) 重点取組項目の成果

#### ① 公益目的事業

a.専門性・独自性の高い事業展開と事業の質の向上

令和3年度は新型コロナの影響を強く受け、4~5年度は影響が徐々に緩和されてきたが、新型コロナ以前には戻っていない状況である。コロナ禍で施設の休園やイベントの中止は余儀なくされたものの、屋外施設の野草園や太白山自然観察の森、青葉の森緑地などでは、感染防止策を講じながら、自然観察会やガイドウォークなどを実施した。青葉の森緑地では、令和2年度の利用者が例年に比べ3,000人ほど増加したが、次年度以降徐々に減っており、感染拡大を避けるかたちで一時的に利用者が増えたと推測される。

都市緑化ホールでは、コロナ禍で数は伸び悩んだが、市民センターや町内会、小学校からの依頼により出前講座を実施し、緑の普及啓発を行った。

運動施設公園では、アンケート調査から利用者のニーズを把握し、 テニスボールの販売やラケットの貸し出しを始めた。

また、緑の普及啓発や緑の文化等の発信として、市政だより掲載や協会情報誌の発行、協会ホームページやブログによるイベント情報の発信、協会 YouTube での自主事業と園芸講習会等の配信、野草園では SNS を活用した開花状況等の発信など、多様なツールを活用して施設ごとに特徴のある自然や公園緑地等の情報発信を行った。

#### b.新たな施設管理形態への戦略的な対応

第4次計画期間中に指定管理者が公募された、青葉区・宮城野区・太白区の運動施設公園と葛岡斎場については、引き続き、令和4年度から5年間の管理運営の指定を受けることができた。また、海岸公園の一部(運動広場及びパークゴルフ場を含む)についても、令和5年度から5年間の管理運営の指定を受けることができ、計画期間中に予定していた全ての指定管理の指定を受けることができた。

公園 PFI やクラウドファンディングについては、事例等を調査し、本協会としての取り組みの可能性について検討したところ、公募内容等が様々であることや、公募条件よって関連企業等との連携も多様であり、一概にこうすべきとの方向性は掴めなかった。特にクラウドファンディングについては、返礼品や委託費用等の検討を含めた事務が

煩雑であること、目的が明確で合理的であることが必須である一方、 実行力があっても実現するための資金力がない社会的信用のある公 益法人が活用することで、資金を集めることができる可能性だけでな く、法人の PR にもつながることがわかってきた。

#### c.市民団体、関連企業、民間団体との連携協力

令和3年度の新緑祭と花壇コンクールは新型コロナによる影響で中止となったが、令和4年度は3年ぶりに開催し、緑の市民活動団体や町内会、公園愛護協力会等と協働して取り組むことができた。花壇づくりや絵画コンクール、記念樹交付等はコロナ禍でも対策を行いながら開催し、市民協働による緑の普及啓発に関する事業を行っている。七北田公園では泉青年会議所や活性化協議会と連携し公園の利活用

七北田公園では泉青年会議所や活性化協議会と連携し公園の利活用を進め、海岸公園では海岸林の育樹会を、市民、ふるさとの杜プロジェクト連絡会議や企業、小中学校、高校等と協働して取り組んだ。

野草園では多くの市民が来園する萩まつりを菓匠三全㈱の協賛や関連団体の協力により継続的に開催している。

令和5年度の4~6月に開催された全国都市緑化仙台フェアでは、 子どもたちや市民団体と一緒に花壇づくりを始めるなど準備段階から 市と協力して取り組み、開催期間中には各会場での企画展示やガイド を行っている。

#### d.安全・安心に向けた取り組みの推進

第4次計画中は特に新型コロナ対策を講じ、利用者と職員の安全と 安心を確保することを優先し、マスク、手指消毒や体温測定等の万全 を期したが、中止せざるを得ないイベント等も多くあった。

葛岡斎場については、代替のない施設として、厚生労働省や仙台市から発せられる最新情報、通達や逐次更新されるマニュアルにより徹底して対応している。

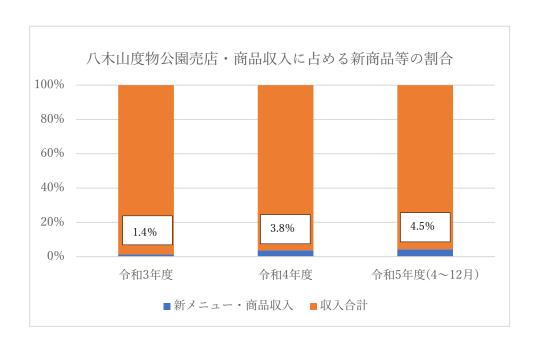
また、本協会が管理運営する施設の地震や消防等の災害対策のため、 シェイクアウト、消火訓練や避難訓練、AED を使用した救命訓練等を 行い、職員の安全意識の向上を図り、海岸公園では避難マニュアルの 適宜見直しを行っている。

#### ② 収益事業

#### a.収益率向上への取り組み強化

八木山動物公園の食堂では、季節ごとに期間限定メニューを提供して好評を得た。また、動物公園ネーミングライツ命名権者の藤崎百貨店とコラボ商品を開発し園内で販売するほか、オリジナル飛び出す絵本や園内パズル木製マップ等を商品開発し、藤崎百貨店で販売するなど販路拡大を図った。さらに正月臨時開園には、ホットドリンクの無料提供を行い、誘客を積極的に行っている。野草園では季節に合わせた限定メニ

ューを提供した。七北田公園では、クリスマスのイベントに合わせ、食堂の夜間営業を行うとともに、特別メニューを提供した。こうした新メニューや新商品の収入は計画期間中、毎年伸びており、少なからず収益事業の売り上げに貢献している。



#### b.新たな事業の検討

利用者意見の多かったキャッシュレス決済について、八木山動物公園アフリカ園売店で令和3年末に導入し、4年度末には仙台スタジアムでスマホ決済を始め、利用者サービスの向上に努めた。また、アフリカ園売店では、令和3年度に全てのメニューのテイクアウトを始めるとともに、グーグーテラスではピザとパスタをテイクアウト商品とし、コロナ禍のニーズに応えるよう取り組んだ。

園外での企画として、藤崎百貨店が正月に販売する動物公園福袋に、 グーグーテラス食事券を提供し、特典サービスと PR を行っており、 様々な場面で利用者サービスの向上を進めた。

#### ③ 組織運営

#### a.社会貢献等の社会的責任への対応と業務品質の向上

本協会の専門・独自性のひとつである緑の保全事業所で行っている「動植物等調査事業」を継続的に行い、その結果をホームページに掲載するとともに、海岸公園センターハウスでも自然環境調査を進め、協会内の勉強会で発表した。また、仙台スタジアムでは、芝生の維持管理について関係団体と定期的な会議を開催し、さらなる品質の向上と管理手法の検討を続けている。

#### b.人材育成の充実

公園等の維持管理に必要な刈払い機やチェンソーなどの講習や、施設 運営に欠かせないグリーンアドバイザーやパークゴルフ指導員等の資 格取得等に積極的に取り組んだ。また、仙台市等の関連団体が主催する 研修に参加し、職員の能力と事務処理の向上に努めている。

#### c.コスト縮減の徹底

大規模施設である仙台スタジアムや葛岡斎場では、指定管理者の自主事業として事務室等の室内照明のLED化を計画・実施し、光熱水費の削減を図っている。また、葛岡斎場ではJVである太陽築炉工業㈱と火葬炉設備修繕計画を作成し、焼炉セラミックの張替え等を計画的に進め、コスト削減を図った。

各施設において光熱水費はもとより、事務用品も含めた在庫管理に心がけるとともに、イベント等の事務の効率化を図り経費削減に努めた。

#### 2-2 第4次中期経営計画の振り返りのまとめ

#### (1) 経営基盤と持続可能な組織運営

新型コロナ感染症によるパンデミックにより、公益目的事業の一部は中止せざるを得ない事態になった。また、収益事業等会計は、令和元年度からマイナスに転じ、公益法人として、収益事業等会計から公益目的事業会計への繰り入れができない状況が3年間続くことになる。このような中でも第4次計画期間中は、継続的な微増の予算を組むことができ、最終的には、計画はほぼ達成することができた。しかしながら、八木山動物公園を主とする収益事業の収益が上がらないことで、公益目的事業が圧迫される事態を経験することとなり、本協会においても安定した経営基盤と持続可能な組織運営の重要性を改めて知ることとなった。

#### (2) 都市における公園緑地等の価値の向上

一方、公園や緑地では、新型コロナを避けるように利用者が伸びるなど、 都市における公園緑地の価値が見直されることとなった。本協会としては、 重点取組項目の事業の中でも、特に専門性や独自性の高い、緑の保全事業 所の施設である、野草園、太白山自然観察の森や青葉の森緑地の利用につ いて、コロナ対策を徹底して取り組むことができた。また、緑の普及啓発 の事業はイベント等の中止が相次いだが、市民センターや町内会、小学校 等から講師派遣依頼もあり、自然や公園緑地等に関するニーズの高さが感 じられた。

#### (3) 利用者視点での情報発信

そうした中で力を入れて取り組んだのが、本協会情報誌やホームページ、SNSによる仙台市の自然環境や公園緑地等の利用者視点に立った情報発信であり、本協会の認知度の向上のにもつながり、今後のさらなる展開の可能性がある。

#### (4) 計画的な資金調達の必要性

計画期間中の指定管理者の公募については、予定していた全ての指定管理者の指定を受けることができたが、市の既存施設活用の観点はさらに進んでおり、今後、指定管理でのさらなる公園施設等の利活用の工夫が求められる。また、施設等の利活用を考えれば、指定管理以外の公園 PFI や協議会等の管理運営形態への益々の進展が予想されるが、本協会が管理運営等で特色を発揮するには、自主事業において計画的な資金調達を図る必要がある。

#### (5) 市民協働プラットフォームの運営

市民団体等との協働事業は、本協会のこれまで培ってきた専門性や独自性が発揮できる分野であり、コロナ禍であっても対策を十分としながら、緑の活動団体と一緒に進める新緑祭や、町内会や公園愛護協力会、小中学校等の花壇・絵画コンクールは着実に回を重ね、事業の効率化も図りながら進捗している。また、ふるさとの杜プロジェクト協議会等の様々な個人や企業が参加するプラットフォームによる公園緑地等の事業は、地元や市民参加、企業 CSR、知縁によるネットワークが進み、今後、さらに活性化することが考えられる。

#### (6) 安全安心に向けた取り組みの強化

第4次計画期間中は、利用者の安全と安心を第一に新型コロナ対策に万全を配し対応したが、災害や感染症等によるパンデミックは、今後も起こるものと心得た行動をいつでもとれるよう取り組むことが肝心である。本協会が管理運営する大規模施設をはじめ野球場等の運動施設等での地震や津波、消防等の災害に対する訓練や、AED等の救命講習を継続的に行うとともに、避難等マニュアルの適宜見直しを行い、常に最新の対策が行えるよう対処する。また、災害等による被害情報の把握や復旧等にいち早く対応するため、停電等によるインフラの停滞が発生しないようバックアップ機能を強化する必要がある。

#### (7) 収益と利用者サービスの向上

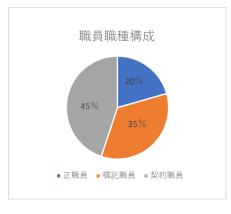
八木山動物公園での事業を中心に行っている収益事業は、コロナ禍で収益が見込めない場合でも、利用者サービスの質を落とさず経営を継続することが求められる経験をした。こうした中でも新メニュー・新商品開発の継続は、収益やサービス向上につながるとともに、公益財団法人としての役割の重要性を再確認できた。収益事業は、公益目的事業の推進に資する事業として行われるものであり、今後、八木山動物公園での事業継続とともに、動物公園以外での公園施設での事業展開の可能性を探ることも重要である。また、利用者ニーズの高いクレジットカードやスマートフォン等のキャシュレス決済の拡大は、利用者サービスの向上としても、引き続き進めて行く必要がある。

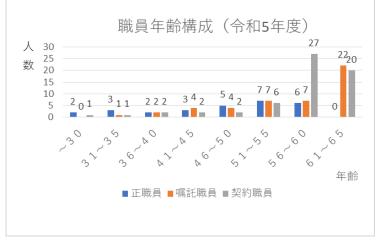
#### (8) 組織運営の強化

#### ① 組織、人事、職員の働き方等の改善

働き方改革などの社会状況の変化に対応し、適宜、個人情報やコンプライアンス、ハラスメントなど規定を設け、職員と共有しながら継続的な意識改革を行っているところであり、引き続き取り組みを続けることが重要である。また、非正規職員の待遇改善についても取り組みを進めてきた。

人事については、人事評価により職員の能力や職場状況を把握し、適切に配置転換を行うなど、職員の能力向上、業務の効率化や組織の活性化を図りながら進めている。第4次計画期間中の職員採用は、年齢構成などを考慮して社会人経験者の採用を行ってきており、正職員のバランスは取れつつある。一方、職員の高齢化は顕在化しており、今後は、若手正職員の採用とともに、高年齢者雇用確保法により65歳までの雇用確保が義務化されている今日、少子高齢化による労働力不足、年金問題、ベテラン職員の若手への指導なども考慮した、定年引上げなどの検討も行っていくことが肝心である。





事務事業の改善では、各種マニュアルの整備等を行いながら、業務を効果・効率的に進めてきたが、事務処理等の日常的な改善を図るためにも事務研修も重要である。さらに業務の効率化等には、デジタル化やICT技術等の向上が求められる。

#### ② 人材育成

人材育成にあたっては、本協会の独自性や専門性でもある自然解説員(インタープリター)の育成や、継続的な動植物調査と発信、芝の維持管理手法の研究等による質の向上等が重要である。また、公園緑地等を効果的に利活用するための公園管理士、グリーンアドバイザー、キャンプアドバイザー、パークゴルフ指導員等の研修や資格取得、樹木等の適切な維持管理のための機器取扱者安全衛生講習等の継続的教育は欠かすことができない。

#### ③ コスト意識の醸成とコスト削減

令和2年度に導入した POS レジスターシステムの運用により、 販売管理や在庫管理等が効果・効率的に行えるようになり、コスト 削減に貢献している。また、キャッシュレス化の拡大により利用者 サービスの提供と業務の効率化が図られた。

大規模施設である葛岡斎場や仙台スタジアムでは、自主事業として事務所等の室内照明の計画的な LED 化も進めている。

収益事業等でのコスト意識は高くコスト削減も行われており、さらに公益目的事業での職員のコスト意識の醸成を図り、本協会全体としてのコスト削減への展開が期待される。

#### 2-3 本協会を取り巻く社会状況と協会の強み

#### (1) 本協会を取り巻く社会状況

本協会の活動の舞台となる公園緑地等は、近年の気候変動による災害や生物多様性への対応、SDGsの推進等に加え、特にコロナ禍での経験によるライフスタイルの変化を受けて、健康増進や良好な子育て環境等の利活用の機能としても注目が置かれるようになっている。

仙台市では、令和3年3月に「連綿と受け継がれてきた「杜の都」のまちづくりを基盤として、世界からも選ばれるまちを目指し、「挑戦を続ける、新たな杜の都へ~"The Greenest City" SENDAI~」をまちづくりの理念に掲げた基本計画を策定し、同年6月には「仙台市みどりの基本計画」を策定し、「百年の杜づくり」の継続や「グリーンインフラの推進」を打ち出している。

また、国においては、令和5年6月に「新しい時代の公益法人制度の在り 方に関する有識者会議」から公益法人制度の見直しに向けた報告があり、寄 附などによる資金を効果的に活用した公益活動を拡大の一方、法人の透明性 やコンプライアンスなど、自らのガバナンスの向上等があげられている。今 後の公益法人制度改正や運用改善について注視する必要がある。

#### (2) 本協会の強み

平成24年4月に公益財団法人として新たにスタートした本協会は、その存在価値の向上と発展のため中期経営計画を作成し、効果・効率的な事業運営に努め、より質の高いサービスの提供を行ってきた。

第4次計画期間中での新型コロナの感染拡大は、社会的な危機に向き合いデジタル化が大きく進展した。また、働き方が変化するとともに公園緑地での過ごし方も変わった。こうした流れの中にあって、本協会は、市の公園緑地等の植物をはじめとする自然に関する専門知識と経験、それらを大人や子どもにわかりやすく解説するインタープリター能力を有する法人として、自然環境や公園緑地等との関りを利用者とともに考え、理解を深めることができた。また、長年の公園施設等の運営・維持・管理の経験から、仙台市と連携を密にして、安全安心を最優先に運動施設の運営管理を進めてきた。こうしたことから、本協会の強みは以下の通りとした。

- ① 公益財団法人として、公共性や公益性に配慮した事業を展開することができる。
- ② 市民協働事業、行政や民間との連携事業など、これまで培ってきたネットワークを最大限生かした事業展開を図ることができる。
- ③ 自然環境の保全や活用について、豊富な経験と専門的な知識と実績があり、それらをわかりやすく解説できる職員を配置していることから、利用者が自然環境を体験できる質の高いサービスを提供することができる。
- ④ 公園施設(公園や運動施設)等の管理運営について、豊富な経験や専門 知識と実績があり、さらに植物管理ができる職員の配置により、利用 者に安全安心な施設の利用と快適環境の質の高いサービスを提供す ることができる。
- ⑤ 環境教育や公園施設等のイベント等の企画と計画、実践を提供することができる。
- ⑥ 災害時における避難マニュアルの作成や訓練、救急等の専門知識や 訓練を受けた職員の配置により、利用者が安全安心に施設を利用で きる。
- ⑦ 仙台市と連携して、収益事業の一部を活用して収益の少ない施設等 の運営管理や自主事業を行うことができる。

#### 2-4 第5次中期経営計画

「2-1第4次中期経営計画の振り返り」、「2-2第4次中期経営計画の振り返りのまとめ」及び「2-3本協会を取り巻く社会状況と協会の強み」により、第5次中期経営計画の基本方針を以下のとおり定める。

#### (1) 基本方針

① 市民協働による公園緑地等事業の推進

公園緑地等に関わる公益財団法人として、市民・企業・市と協働で「百年の杜づくり」を推進し、行政と市民をつなぐ役割と安全で安心な市民サービスを提供する。また、長期的には自然環境の保全及び公園・施設管理分野の指導的・先駆的な存在となることを目指し、仙台市基本計画の理念でもある「The Greenest City」の実現に貢献する。

② 本協会の内外へのアピール

本協会が公益財団法人として、積極的に社会貢献を果たしていることを発信し、個人や企業と共感することで、寄附行為等を積極的に受け入れる。そのためにも仙台市が進めるグリーンインフラ推進等に係る事業を通して SDGs を推進し、公益事業を積極的にアピールし、本協会の存在価値を高めることが必須である。

③ ガバナンスの向上

職員全体が本協会の目的や事業を理解し、目指すところを共有することが重要であり、都市緑化や緑の保全・活用、公園緑地等における質の高いサービスの提供者として、職員自らの安全・安心はもとより、協会内のコンプライアンス、個人情報保護、情報開示、デジタル化等の取組みを推進し、社会的信用を得る。

④ 安定した経営基盤の構築

パンデミックでの経験から、経営力はもとより、計画的で持続可能な組織運営のための経営基盤は重要であり、公益法人制度の中で安定した経営基盤をつくる。

⑤ 収益事業における利益の確保による公益事業の充実化 コストや効果・効率意識を常に持ち、収益事業の収益増加を図り、 公益事業を充実させ公共サービスを提供するなど、公益財団として の使命を果たす。

#### (2) 計画期間

気候変動による豪雨等の災害や公園緑地等の考え方の変化、新型コロナ禍でのデジタル技術や AI 等の進展、民間活力の導入による公園緑地等管理運営の定着など、本協会を取り巻く社会情勢の変化スピードが速いことから、これに柔軟に対応するため計画期間を 3 年とする。

計画期間:令和6~8年度(3か年)

#### (3) 中期経営計画の戦略

「2-1第4次中期経営計画の振り返り」から「2-4(1)基本方針」を踏まえ、マーケティング戦略立案で使われる SWOT 分析を行い、中期経営計画の課題と方向性を検討する。SWOT は Strength(強み)、Weakness(弱み)、Opportunity(機会)、Threat(脅威)の4要素から構成され、4要素を「内部環境」と「外部環境」、「プラス要因」と「マイナス要因」に分けて分析するものであり、本協会の強み、弱み、機会、脅威は以下の表のとおりである。また、これら4つの要素を掛け合わせ、4つの戦略を立てるクロス SWOT 分析を行い、以下のとおり課題とマーケティング戦略の方向性を整理した。

#### 第5次中期経営計画の戦略

第5次中期経営計画の戦略は下記のとおり整理した。計画の戦略は、 今後の本協会の経営に関わる重要な方向性として、具体的な事業に反映 していく。

	クロスSWOT分析		
		内 部	要  因
		強み(Strength) ・公共性、公益性 ・地域や各種団体との連携 ・自然環境や公園緑地等に関する豊富な経験とノウハウ・実績 ・公園施設等の管理運営に関する豊富な経験とノウハウ・実績 ・質の高いサービスの提供 ・仙台市との連携	現み(Weakness) ・管理運営施設の市域全体への散在(小規模運営施設の集合体)・新規事業や事務処理のスピード感・効率不足・コストや競争意識の希薄化・正職員の年齢構成や非正規職員とのバランスの偏り・適切な周知や情報発信の不足
外部要	機会(Opportunity) ・市民のみどり(環境や緑)への関心の高まり ・地域のみどり(環境や緑)の活動への参加意識の高まり ・指定管理期間の満了となる施設への対応 ・民間活力導入施設の公募への対応	【積極戦略】(最も競争優位性を発揮しやすい戦略) ①緑に関する普及啓発活動の推進 ②緑に関する市民協働事業の推進 ③公園施設等の運営管理に関する質の高いサービスの提供 ④施設管理者としての事業提案 ⑤災害や感染症等への対応 ⑥民間活力導入(公募)への対応 ⑦SDGsの推進 ⑧仙台市や地域団体、民間企業等との連携強化	【改善戦略】(時間をかけて弱み改善が必要な戦略) ③ガバナンスの向上(コンプラ、ハラスメント、働き方等) ④管理運営施設間の連携 ⑤内外への情報発信とPR強化 ⑥協会の存在価値を高める ⑪人材確保・育成
因	脅威(Threat) ・仙台市の政策転換 ・財務状況の変化 ・競合他社のサービス向上、協会事業への参入	【差別化戦略】(脅威を逆手に取り差別化を目指す戦略) ⑨安定的な経営基盤の創出 ⑩公益法人としての役割の遂行(収益の公共事業への投資) ⑪施設の管理運営に関するノウハウの蓄積 ⑫市内外の情報収集	【転換戦略】(弱みを理解し脅威に備える。生き残りのために前向きに検討すべき戦略) (豫コスト削減・効率化の実現 (珍寄附金や各種補助金等の活用による自主財源の確保

#### 積極戦略(最も競争優位性を発揮しやすい戦略)

- ① 緑に関する普及啓発活動の推進
- ② 緑に関する市民協働事業の推進
- ③ 公園施設等の運営管理に関する質の高いサービスの提供
- ④ 施設管理者としての事業提案
- ⑤ 災害や感染症等への対応

- ⑥ 民間活力導入(公募)への対応
- ⑦ SDGs の推進
- ⑧ 仙台市や地域団体、民間企業等との連携強化

#### 差別化戦略(脅威を逆手に取り差別化を目指す戦略)

- 9 安定的な経営基盤の創出
- ⑩ 公益法人としての役割の遂行(収益の公共事業への投資)
- ⑪ 施設の管理運営に関するノウハウの蓄積
- ① 市内外の情報収集

#### 改善戦略(時間をかけて弱みの改善が必要な戦略)

- ③ ガバナンスの向上(コンプラ、ハラスメント、働き方等)
- (4) 管理運営施設間の連携
- 15 内外への情報発信と PR 強化
- 16 協会の存在価値を高める
- ① 人材確保・育成

## 転換戦略(弱みを理解し脅威に備える。生き残りのために前向きに検討すべき戦略

- 18 コスト削減・効率化の実現
- (19) 寄附金や各種補助金等の活用による自主財源の確保

#### 第3章 会計項目事業ごとの重点取組み事項と重点事業

「2-4第5次中期経営計画」の「(1)基本方針」から「(3)中期経営計画の 戦略」に基づき、計画期間中に行う公益目的事業、収益事業及び組織運営の重点 取組み事項を検討し、事業実施計画として整理する。

さらに事業実施計画のうち、重要な事業を重点事業として抽出し、できるだけ 成果指標を数値化して進行管理を行い、事業評価結果を評議員会及び理事会に 報告するとともに公表する。

#### 3-1 公益目的事業の重点取組み事項と重点事業

本協会の強みでもある、自然環境や公園緑地、施設の管理運営等に関する専門性や独自性を発揮させながら、市民・NPO・企業等とも連携して事業を進める。特に仙台市が進める都市緑化及び公園緑地事業、葛岡斎場・墓園等の受託や指定管理事業については、安全安心に配慮しながら効果・効率的に進めるとともに、指定管理期間の更新時には積極的に再指定の獲得を目指す。また、新規に公募される事業は、民間活力の導入が考えられることから、その内容を十分精査して新たな事業展開も検討する。さらに、利用者サービスの向上と安定的な公益目的事業の推進のため、特定費用準備資金の検討を進める。以上から、重点取組み事項を下記のとおりとする。

#### 【重点取組み事項】

- (1)専門性・独自性を生かした事業展開と事業の質の向上
- (2)新たな施設管理形態への戦略的な対応
- (3)市民・NPO・企業等との連携協力
- (4)安全・安心に向けた取り組み

#### 【重点事業】

- (1)専門性・独自性を生かした事業展開と事業の質の向上
  - ① サクラソウ保全育成事業 【緑の保全】 【戦略①⑦⑩⑤⑥】

仙台市原産の野生品種「越路」「八木山」「愛子」などの保護育成を 図るとともに、現在も自生している産地の品種は生育域外保全・増殖 を行い植え戻しも地元団体と協働で行い、絶滅危惧植物サクラソウの 保護育成と普及を行う。また、伝統園芸植物である園芸品種サクラソ ウの普及を目的にした講習会や展示会を行う。

#### 【成果指標】

栽培、さくらそう展、講習会(春)、講習会(秋)、自生地植え戻し、情報発信の6つの活動を全て実施する。

R6年度	R7年度	R8年度
<ul><li>サクラソウに関す</li></ul>	<ul><li>サクラソウに関す</li></ul>	<ul><li>サクラソウに関す</li></ul>
る6つの事業の実施	る6つの事業の実施	る6つの事業の実施

## ② パークゴルフ場と運動広場でのイベント開催【海岸公園】

#### 【戦略③⑴】

パークゴルフ場において月例会や理事長杯を開催するとともに、初 心者パークゴルフ教室等を実施するなど、定期的にイベントを開催し 利用者サービスに努める。また、運動広場においてサッカー教室を開 催し利用促進を図る。

#### 【成果指標】

イベントの開催回数、参加人数

R6年度	R7年度	R8年度
• 月例会	• 月例会	• 月例会
9回200人以上	9 🛮 200 人以上	9 🛭 200 人以上
• 初心者 PG 教室	• 初心者 PG 教室	• 初心者 PG 教室
6回120人以上	6回120人以上	6回120人以上

### ③ 七北田公園三施設連携による利活用の推進【七北田公園】

【戦略3481516】

令和6年度から始まる七北田公園「4シーズンズイベント(年4回)」に合わせ、仙台スタジアムでの施設見学会やピッチで遊んでみよう、体育館のファミリー無料開放デー、緑化ホール展示会等のイベントを同時開催し、公園施設間の連携を図り施設の利活用を積極的に進める。

#### 【成果指標】

イベント数、参加者数、満足度の維持向上

R6年度	R7年度	R8年度
・各施設活用イベン	・各施設活用イベン	・各施設活用イベン
ト6回以上	ト7回以上	卜8回以上
• 初年度参加者数力		・初年度の参加者数
ウント		の 1.5 倍
<ul><li>参加者アンケート</li></ul>	<ul><li>参加者アンケート</li></ul>	<ul><li>参加者アンケート</li></ul>
調査の満足度80%以	調査の満足度80%以	調査の満足度 80%以
上	上	上

#### ④ 利用者満足度の向上【各施設】【戦略③】

各施設において利用者の意見、要望を把握し、事業に反映する。 【成果指標】

満足度の維持向上

R6年度	R7年度	R8年度
・利用者アンケート	<ul><li>利用者アンケート</li></ul>	<ul><li>利用者アンケート</li></ul>
調査の満足度80%以	調査の満足度 80%以	調査の満足度 80%以
上	上	上







初心者パークゴルフ教室



イルミネーション&キャンドルナイト

#### (2)新たな施設管理形態への戦略的な対応

#### ① 特定費用準備資金の創設 【総務課】 【戦略690006】

新たな自主事業や事業提案等による応募に備えるため、特定費用 準備資金を創設し、必要な事業毎に資金の名称、内容、計画期間、 積立額等を定め、理事会の承認の上、資金を積み立て、事業を実施 する。

#### 【成果指標】

設定した年間の目標額に対する達成率、事業の実施状況。

R6年度	R7年度	R8年度
・事業計画の作成		
・年度毎の積立額達	• 年度毎の積立額達	・年度毎の積立額達
成	成	成

## ② 指定管理業務の確実な受託 【七北田公園】 【施設管理課】 【葛岡】 【総務課】 【戦略⑥⑧⑪⑫⑯】

仙台スタジアム・体育館(令和6年度)、水の森公園キャンプ場(令和7年度)や葛岡斎場(令和8年度)等の指定管理者の公募が想定されることから、指定の再獲得に向けてプロジェクトチームを設置し、関係企業等と連携しながら、事業計画の精査、募集要項、仕様書等の確認を行うとともに、協会独自の自主事業を提案するなど、確実に業務を受託する。

#### 【成果指標】

選定結果

R6年度	R7年度	R8年度
• 仙台スタジアム • 体	・水の森公園キャン	• 葛岡斎場指定管理
育館指定管理者の受	プ場指定管理者の受	者の受託
託	託	• 運動施設公園指定
		管理者の受託(青葉
		区•宫城野区•太白区)



仙台スタジアム



水の森公園キャンプ場



葛岡斎場

#### (3) 市民・NPO・企業等との連携協力

#### ① 市民協働による緑の普及【施設管理課】【戦略②⑦⑧⑩⑤億】

新緑祭や花壇づくり助成、記念樹交付事業等を通じて緑の普及 促進を図るなど、仙台市の「百年の杜づくり」に資する取り組みを 推進する。また、自主事業として、学校花壇への支援事業「未来へ 花でつなぐ学校花壇事業」などにより、未来へ繋がる緑化推進事業 を実践する。

#### 【成果指標】:

助成件数(学校花壇支援)の維持向上

R6年度	R7年度	R8年度
• 学校花壇支援件数	• 学校花壇支援件数	• 学校花壇支援件数
15件	15件	15件

#### ② 萩まつりの充実【緑の保全】【戦略378億】

仙台の秋を彩り、長年にわたり市民に親しまれている萩まつりについて、関連企業・団体との協働により、より一層の質の向上を図り、魅力を高めて実施する。

#### 【成果指標】

#### 入園者数

R6年度	R7年度	R8年度
・まつり開催期間中	・まつり開催期間中	・まつり開催期間中
の入園者数 300 人/	の入園者数 300 人/	の入園者数 300 人/
日以上	日以上	日以上

#### ③ ふるさとの杜育樹事業の推進【海岸公園】【戦略27856]

仙台市が進める「せんだいふるさとの杜再生プロジェクト」と連携し、市民参加の育樹会、小学校参加の育樹体験、高校・大学や企業参加の育樹活動を開催し、海岸林の保全・育成を図る。

#### 【成果指標】

育樹会の開催回数、参加人数、育樹体験の参加学校数、育樹活動の参加団体数及び参加人数

R6年度	R7年度	R8年度
• 育樹会	• 育樹会	• 育樹会
4回160人以上	4 回 160 人以上	4回160人以上
• 育樹体験	• 育樹体験	• 育樹体験
8校300人以上	8 校 300 人以上	8 校 300 人以上
• 育樹活動	• 育樹活動	• 育樹活動
5 団体 400 人以上	5 団体 400 人以上	5 団体 400 人以上







新緑祭 萩まつり 育樹会

## (4)安全・安心に向けた取り組み

① 安全対策講習等、各種訓練の実施及び危機管理体制の強化 【各施設】【戦略⑤】

普通救命講習、遊具の安全点検及び消防訓練等を実施する。また、 大規模災害発生の対応強化に向けた全体訓練を実施する。

#### 【成果指標】

実施状況

R6年度	R7年度	R8年度
・普通救命訓練の実	・ 普通救命訓練の実	・ 普通救命訓練の実
施	施	施
・消防訓練の実施	・消防訓練の実施	・消防訓練の実施
・大規模災害等の全	・大規模災害等の全	・大規模災害等の全
体訓練の実施	体訓練の実施	体訓練の実施







普通救命講習 遊具の安全点検

#### 3-2 収益事業の重点取組み事項と重点事業

八木山動物公園等における新メニューの開発や、本協会が管理運営を行う施設と連携した新商品の検討などにより収益率のアップを積極的に行う。また、公園等で実施されるイベントへの出店やキャッシュレス化などの利用者サービス向上への取り組みを進める。さらに、公園等の夜間や閑散期利用の企画に合わせた食堂等の柔軟な営業を行い、収益の拡大を図る。今後予定されている動物公園等の再整備を踏まえ、食堂等の便益施設の管理運営者公募について、計画的な事業展開が行えるように備える。以上から、重点取組み事項を下記のとおりとする。

#### 【重点取組み事項】

- (1)収益率向上への取り組み
- (2)利用者サービスの向上

#### 【重点事業】

#### (1)収益率向上への取り組み

#### ① 食堂、売店における商品企画の拡充【事業課】【戦略89】

八木山動物公園等の食堂や売店などでの新メニューや八木山動物 公園等とのコラボレーショングッズ等の企画について柔軟な発想で 開発し、収益向上を図る。

#### 【成果指標】

売上げ目標の達成率

R6年度	R7年度	R8年度
• 実施計画作成	• 実施計画作成	• 実施計画作成
・売上げ目標達成	• 売上げ目標達成	• 売上げ目標達成

#### ② 他施設と連携した新商品の企画検討【事業課】【戦略⑨44】

本協会が管理運営を行っている各施設と連携し、施設からのアイディアを事業課で取り入れながら、新商品の企画販売を行い収益の向上を図る。

#### 【成果指標】

売上げ目標の達成率

R6年度	R7年度	R8年度
• 企画検討	• 実施計画作成	• 実施計画作成
• 実施計画作成	• 売上げ目標達成	• 売上げ目標達成

## ③ 八木山動物公園や勾当台公園の再整備事業中の仮設店舗や事業後 の新施設の受託運営【事業課】【戦略689位】

公園再整備中の仮設店舗や再整備完了後の新たな便益施設の公募 に的確に応え、計画的な事業展開が行えるよう情報収集しながら収益 向上も図れる条件等を検討し、継続した受託運営を目指す。そのため、 収益事業に特別建設費用積立金を造成する。

#### 【成果指標】

設定した年間の目標額に対する達成率。

R6年度	R7年度	R8年度
• 資金計画作成		
・年度毎の積立額達	・年度毎の積立額達	・年度毎の積立額達
成	成	成



【新メニュー】

グーグーテラス

「ふわふわミートボールの うさぎプレート」



【期間限定】

「キャンドルディッシュ」 KASVI CAFÉ



【新商品】

「ハーモニー学習帳どうぶつのくに」 八木山動物公園売店

#### (2)利用者サービスの向上

#### キャッシュレス化の推進【事業課】【戦略③®】

キャッシュレスの取り扱い実績や売上日計表等の精算事務処理 方法を検証し、キャッシュレス未導入店舗への導入やスマートフォ ン決済(QR コード)の導入を検討する。特に多くの利用者があるハ 木山動物公園では、導入店舗を拡充する。

#### 【成果指標】

新規キャッシュレス導入数

R6年度	R7年度	R8年度
<ul><li>新規キャッシュレス導入数1件以上</li></ul>	<ul><li>新規キャッシュレ</li><li>ス導入数1件以上</li></ul>	・新規キャッシュレ ス導入数 1 件以上
人導人数 1 件以上 	<i>人</i> 導人数 1 件以上 	人學人数 1 件以上

#### ② 公園イベント等への出店の推進【事業課】【戦略③⑧⑫】

公園等でのイベント情報を把握し、他事業者との共同出店を含めた検討を行い、イベント開催時の公園利用者サービスの向上を図る。 【成果指標】

イベント出店数

R6年度	R7年度	R8年度
・イベント出店数 1	・イベント出店数 1	・イベント出店数 1
件以上	件以上	件以上







キャッシュレス化 ゼブラショップ

キャッシュレス化 表示案内

八木山フェスタ出店

#### 3-3 組織運営の重点取組み事項と重点事業

本協会の目的を達成しながら持続可能な組織経営を行っていくためには、広く社会から認められ、信頼される存在になることが重要である。そのため、不祥事の防止、情報公開、情報発信やコスト削減・効率化など、協会の透明性をさらに高め、職員が協会の目的を共有して業務に当たるなど、ガバナンスの向上を引き続き進める。また、職員の専門性や独自性を高めるため、継続的教育等や資格取得等の研修を継続するなど人材育成を図り、組織横断的な勉強会を開催するなど、職員同志が協力できる体制の構築に努める。さらに、組織として社会に貢献するため、SDGsを進める。以上から、重点取組み事項を下記のとおりとする。

#### 【重点取組み事項】

- (1)ガバナンスの向上と社会貢献の推進
- (2)人材育成の充実
- (3)コスト削減の徹底
- (4)情報の積極的な発信

#### 【重点事業】

#### (1) ガバナンスの向上と社会貢献の推進

#### ① コンプライアンスの確保【総務課】【戦略③】

職員一人一人が公益法人としての本協会の社会的な使命や責任、役割を理解し行動するために、本協会の施設横断組織であるみどりのネットワークによる内部事業発表会の開催、コンプライアンスや個人情報研修等により意識の向上を図る。

#### 【成果指標】

事業発表会の開催回数、コンプライアンス研修等の実施回数

R6年度	R7年度	R8年度
• 事業発表会 1 回以	• 事業発表会 1 回以	• 事業発表会 1 回以
上	上	上
・コンプライアンス	・コンプライアンス	・コンプライアンス
等研修 2 回以上	等研修 2 回以上	等研修 2 回以上

#### ② SDGsの推進【各施設】【戦略⑦】

落ち葉のリサイクル、緑のカーテン、環境教育等に取り組むことにより、本協会として SDGs を推進し、持続可能な社会の実現に寄与する。

#### 【成果指標】

17の持続可能な開発目標を掲げる事業の実施数

R6年度	R7年度	R8年度
・SDGs 事業40件	• SDGs 事業40件	・SDGs 事業40件
以上	以上	以上

#### ③ 調査研究成果の発信【緑の保全】【海岸公園】【戦略①⑩⑤⑥】

各施設が継続的に行っている調査研究結果を協会内で共有するとともに、成果としてまとめ、公表することにより、協会の専門性を発信する。

#### 【成果指標】

調査研究成果の公表件数

R6年度	R7年度	R8年度
・緑の保全3件以上	・緑の保全3件以上	・緑の保全3件以上
•海岸公園 1 件以上	•海岸公園 1 件以上	・海岸公園 1 件以上



内部事業発表会 (みどりのネットワーク)



緑のカーテン SDGs 事業



小学校自然観察会 SDGs 事業

## (2)人材育成の充実

① **専門研修等の充実、資格取得の計画的な実施**【総務課】【各施設】 【戦略③①】

協会内有資格者による OJT やみどりのネットワークによる 内部専門研修会の実施、各種外部専門研修への参加、業務上必要 な各種資格取得を推進し、職員の専門性を高める。

#### 【成果指標】

協会内有資格者による内部専門研修会の実施回数、資格取得 者数

R6年度	R7年度	R8年度
•内部専門研修1回	• 内部専門研修 1 回	• 内部専門研修 1 回
以上	以上	以上
• 資格取得計画作成		
• 資格取得者数計画	• 資格取得者数計画	• 資格取得者数計画
達成	達成	達成



青葉の森緑地研修会 (みどりのネットワーク)



名木古木めぐり (みどりのネットワーク)



名木古木めぐり (みどりのネットワーク)

#### (3)コスト削減の徹底

① デジタル化の推進【総務課】【各施設】【戦略③⑧】

事務の効率化、ペーパーレス化等を推進するため、決裁、会計処理、勤怠、超勤、休暇等の事務処理の電子化について、現状課題を整理するとともに他団体の事例等を調査検討し、費用対効果も踏まえ、ロードマップを作成し、実施可能な事務から実施する。 【成果指標】

実施状況

R6年度	R7年度	R8年度
<ul><li>ロードマップの作</li></ul>		
成		
• 押印の廃止		
・事務処理の電子化	・事務処理の電子化	・事務処理の電子化
の試行		

#### (4)情報の積極的な発信

① 情報ツールを活用した積極的な発信【総務課・各施設】 【戦略(1)(5)(6)】

利用者の観点を踏まえ、協会ホームページをわかりやすくリニューアルするとともに、情報誌の内容を充実させ、SNS(インスタ・フェイスブック等)での速達性のある発信を強化する。

#### 【成果指標】

ホームページの閲覧件数、SNS の発信件数、ブログの登録者数、インスタフォロワー数

R6年度	R7年度	R8年度
• HP 閲覧件数前年度	• HP 閲覧件数前年度	• HP 閲覧件数前年度
以上	以上	以上
・SNS 発信件数カウ		• SNS 発信件数 R6
ント		年度の 1.5 倍以上
<ul><li>太白山ブログ月に</li></ul>	・太白山ブログ月に	・太白山ブログ月に
4回発信、登録者数3	4回発信、登録者数3	4回発信、登録者数3
0人以上	0人以上	0人以上
・青葉の森緑地イン	・青葉の森緑地イン	・青葉の森緑地イン
スタフォロワー100	スタフォロワー100	スタフォロワー100
人以上	人以上	人以上



| minimum LL/LST (14/55)
| minimum LL/LST (

Instagram



情報誌

「杜 mori げんき」

野草園の Instagram

太白山自然観察センターのブログ

## ※本協会が取り組む SDGs の主な目標

# SUSTAINABLE GALS DEVELOPMENT













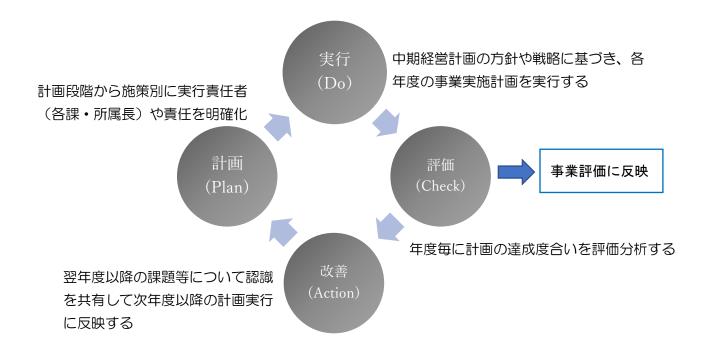






#### 第4章 事業の進行管理

中期経営計画は、事業計画の有効性と業務の効率性の向上を図るため、令和元年度から事業評価を実施している。事業の評価は、各担当部署が達成状況の度合いに応じて4段階で評価し、次年度に向けた課題を示しながら、その改善策を検討するものとしている。このように中期経営計画では、各年度に事業評価を行うことから、取り組みを着実に実行するため、PDCAサイクルに基づいて、計画の事業管理を行うこととし、これにより、計画の目標が明確になり、業務の継続的な改善と効率性の向上を図る。



## 第5章 実施事業

第5次中期経営計画において取り組む事業は以下のとおりとする。当該事業は事業評価を毎年度行い次年度以降の事業に反映する。

## 5-1 公益目的事業

① 専門性・独自性の高い事業展開と事業の質の向上

事業番号	事業名	事業の目的・概要	担当
1 拡充	【重点事業】 サクラソウ保全育成事 業	仙台市原産である「越路」「八木山」「愛子」等の保護育成と希少品種保護に配慮 した展示を行い、市民啓発を図る。	緑の保全事業所
2	花と緑の出前講座等の 実施	協会の専門性を活かし、都市緑化の推進 に向けた出前講座を実施する。	七北田公園管理事 務所
3	各施設間の情報共有と 連携強化、技術の向上 (みどりのネッワー ク)	協会が管理する公園・緑地における業務 や各施設で開催するイベント等に関し て、職員の発表の場を設け、施設相互の 情報共有と連携強化、技術力向上を図 る。	施設管理課
4 拡充	【重点事業】 各施設でのイベント開 催と施設間の連携	施設の利用促進、満足度向上を目指し、各施設の特色を活かしたイベントを実施するとともに、共同イベントを企画・開催し、魅力あるサービスを提供する。	施設管理課 緑の保全事業所 海岸公園事業所 事業課 葛岡事業所 七北田公園管理事 務所
5	中学生の職場体験活動の受入れ	次代を担う中学生が公園の維持管理を体験することにより、緑の普及・啓発を行う。	施設管理課 緑の保全事業所 海岸公園事業所 事業課 七北田公園管理事 務所
6	七北田公園イルミネー ション&キャンドルナ イトの充実	冬季間の利用促進・満足度向上を図ると ともに、収益事業への拡大を検討する。	七北田公園管理事務所
7 新規	閑散期の利用促進	公園等のウィークデーや閉園・閑散期等 の利用を促進する	施設管理課 海岸公園事業所 各施設

8 拡充	自然環境調査の実施	周辺地域も含め自然環境や動植物の生 育・生息調査を継続して行い、データの 蓄積と魅力的な展示につなげる。	緑の保全事業所 海岸公園事業所
9 新規	秋保大滝植物園魅力アップ	県立自然公園二口渓谷にある植物園として魅力アップを図り、市内外からの来訪者に仙台の自然を紹介する	緑の保全事業所
1O 新規	仙台スタジアムの芝生 管理の充実	仙台スタジアムの芝生について、調査・ 分析等を行い、年間を通して、良好な状態が維持できるよう取り組む。	七北田公園管理事務所
11 拡充	【重点事業】 利用者満足度の向上	各施設において利用者の意見、要望を把握し、事業に反映させ、利用者満足度の向上を図る。	施設管理課 緑の保全事業所 海岸公園事業所 事業課 葛岡事業所 七北田公園管理事 務所

## ② 新たな施設管理形態への戦略的な対応

事業番号	事業名	事業の目的・概要	担当
1 新規	【重点事業】 特定費用準備資金の創 設	指定管理等の公募に備えるため、特定費 用準備資金を創設する。	総務課
2 <b>拡充</b>	【重点事業】 指定管理業務の確実な 受託(指定管理者の更 新)	仙台スタジアム・体育館(R6年度公 募)、水の森公園キャンプ場(R7年度公 募)、葛岡斎場(R8年度公募)、青葉区・ 宮城野区・太白区運動公園(R8年度) の指定管理について、関係企業と連携し ながら確実に業務を受託し、適切に運営 する。	総務課 施設管理課 葛岡事業所 七北田公園管理事 務所
3	公園 PFI 事業等への対 応	都市公園法の改正に伴い仙台市が進める 公園 PFI に対し、参入の可能性、組織体 制等について幅広く検討する。	施設管理課

## ③ 市民・NPO・企業等との連携協力

事業番号	事業名	事業の目的・概要	担当
1 拡充	【重点事業】 市民協働による緑の普 及	新緑祭、花壇づくり助成、緑化コンクール (花壇・絵画)、記念樹交付事業等を開催 し、市民協働による緑化推進を図る。	施設管理課
2 <b>拡充</b>	【重点事業】 萩まつりの充実	仙台の秋を彩り、長年にわたり市民に親しまれている萩まつりを、関連企業・団体等との協働により、質の向上を図りながら継続する。	緑の保全事業所
3 <b>拡充</b>	【重点事業】 ふるさとの杜育樹事業 の推進	地域の関係団体とともに育樹会を開催し、 沿岸部のみどりを再生する「ふるさとの杜 づくり」事業の推進を支援する。	海岸公園事業所
4 拡充	七北田公園管理運営協 議会(仮称)との連携	地元の関係団体等で構成する協議会と連携し、公園の利活用に取り組む。	七北田公園管理事 務所
5	水の森公園運営協議会	関係団体と連携し、安全で利用しやすい公園の運営管理に努める。	施設管理課
6 <b>拡充</b>	葬祭業者との意見交換	葬祭業者との意見交換会を通し、斎場運営 に対する意見・要望等を把握し、利用者サ ービスの向上につなげる。	葛岡事業所
7	ガイドボランティアと の連携	ボランティアによる園内案内により、利用 促進、満足度向上を図るとともに、イベン トの運営等も協働で取り組む。	緑の保全事業所
8	どんぐりの森づくりプ ロジェクト	どんぐりの苗を育て、被災した海岸公園等に提供する「どんぐりの森づくりプロジェクト」を向山小学校と協働で継続実施する。	緑の保全事業所
9	協働による花壇づくり	   市民協働での花壇づくりに取り組む。 	七北田公園管理事 務所
10	八木山フェスタへの参 加	動物公園、八木山ベニーランド、市民センター、東北工大、東北放送、町内会等で組織する実行委員会に参加し、フェスタの充実を図り、地域住民へ還元する。	事業課
11	泉区街づくり推進協議 会との連携	泉中央地区美化推進実行委員会及び七北 田川クリーン運動実行委員会主催の事業 に積極的に参加し、地域貢献の一翼を担 う。	七北田公園管理事務所

12	寄付行為等の積極的活	市民協働による緑のまちづくりを進める	総務課
│ │新規		ため、公益法人として寄付を受けることを	施設管理課
材况	用 	協会 HP 等で PR する。	各施設
13	海岸公園運営協議会	海岸公園の各施設と連携し、海岸公園全体	海岸公園事務所
13	使用公园建名协議式	の利用促進に努める。	

## ④ 安全・安心に向けた取り組み

事業番号	事業名	事業の目的・概要	担当
			施設管理課
	【重点事業】	利用者の安全確保を最優先に、消火訓練や	緑の保全事業所
1	安全対策講習会等各種	避難訓練、AEDを使用した救命講習等を	海岸公園事業所
拡充	訓練の実施及び危機管	積極的に実施し、安全意識の向上に取り組	葛岡事業所
	理体制の強化	む。	七北田公園管理事
			務所
		新型コロナウィルスをはじめとする各種	総務課
2	感染症対策の推進	感染症対策を確実に進め、利用者、職員の	施設管理課
		安全を確保する。	各施設
3	災害バックアップ機能	災害等によるインフラ被害対策を強化し、	施設管理課
新規	の強化	早期復旧等を推進する。	

## 5-2 収益事業

## ① 収益率向上への取組強化

事業番号	事業名	事業の目的・概要	担当
1 拡充	【重点事業】 食堂、売店における商 品企画の拡充	新メニューやコラボグッズ等の企画について柔軟な発想で新商品を開発し収益向上に努める。	事業課
2 新規	【重点事業】 他施設と連携した新商 品の企画検討	本協会が管理運営を行っている全ての施設について、各施設と連携し、新商品を企画・販売する。	事業課各施設
3 <b>新規</b>	【重点事業】 動物公園や勾当台公園 の再整備後の新施設の 受託運営	再整備完了後の新たな便益施設について、 確実に受託し運営する。そのための積立金 を造成する。	事業課
4	コスト管理の徹底	新メニューやグッズはもとより、既存の商品等についても市場価格を把握し、適切な価格設定とコスト削減に努める。	事業課
5	冬季間の誘客施策の推 進	冬季間の動物公園の売店・食堂、どんぐり 庵、スタンド喫茶勾当台、KASVICAFEの 利用者ニーズを調査し、営業体制及び誘客 施策を検討し実施する。	事業課

## ② 利用者サービスの向上

事業番号	事業名	事業の目的・概要	担当
1 拡充	【重点事業】 キャッシュレス化の推 進	全国的にキャッシュレス決済が進む中、本協会が運営する食堂、売店への導入を推進する。	事業課
2 <b>拡充</b>	【重点事業】 イベント等への出店の 推進	公園等でのイベント開催の情報を把握し、 出店を推進する。	事業課
3	食堂における特典サー ビスの提供	ポイントカードや割引特典によりリピー ターを確保し、収益向上を図る。	事業課
4	テイクアウト等の事業 展開の推進	新たな収益確保のため、テイクアウトフー ド等の販路拡大について検討し実施する。	事業課

## 5-3 組織運営

## ① ガバナンスの向上と社会貢献の推進

事業番号	事業名	事業の目的・概要	担当
1 拡充	【重点事業】 コンプライアンスの確 保	職員全員が社会的な使命と責任や組織の 一員としての自らの役割を理解し実践す る。	総務課
2 <b>新規</b>	【重点事業】 SDGsの推進	SDGsを推進し、持続可能な社会の実現 に寄与する。	各施設
3 <b>拡充</b>	【重点事業】 調査研究成果の発信	各施設の調査研究を協会内で共有すると ともに、研究成果を公表することにより、 本協会の専門性を発信する。	施設管理課 緑の保全事業所 海岸公園事業所

## ② 人材育成の充実

事業号	事業名	事業の目的・概要	担当
1 拡充	【重点事業】 専門研修等の充実、資 格取得の計画的な実施	協会内有資格者によるOJTや内部研修会の実施、各種外部研修への参加、業務上必要な各種資格取得を推進し、職員の専門性を高める。	総務課 施設管理課 緑の保全事業所 海岸公園事業所 葛岡事業所 七北田公園管理事 務所
2 <b>拡充</b>	人事評価制度の確立	職員の能力開発の基礎資料とするほか、人 事異動や昇任・昇格に活かせるデータベー スを更新する。また、専門性に着目した人 事評価を取り入れる。	総務課
3 <b>新規</b>	計画的な職員採用	持続可能な法人経営を行うため、安定的な 年齢構成を構築し、組織体制を強化する。	総務課

## ③ コスト削減の徹底

事業番号	事業名	事業の目的・概要	担当
1 新規	【重点事業】 デジタル化の推進	事務処理、会計処理等のデジタル化を推進し、事務の効率化、ペーパーレス化を図る。	総務課
2 <b>拡充</b>	コスト削減の徹底	あらゆる業務の経費を見直すとともに、効 率を改善して創意と工夫でコスト削減を 推進する。	総務課 施設管理課 事業課 各施設
3	計画的な修繕	経常修繕に加え、計画的に行う必要のある 修繕内容を把握し、施設の保全に取り組 む。	施設管理課 葛岡事業所 七北田公園管理事 務所

## ④ 情報の積極的な発信

事業番号	事業名	事業の目的・概要	担当
1 拡充	【重点事業】 情報ツールを活用した 積極的な発信	利用者の観点を踏まえ、協会ホームページをわかりやすくリニューアルするとともに、情報誌の内容を充実させ、SNS(インスタ・フェイスブック等)での速達性のある発信を強化する。	総務課 施設管理課 緑の保全事業所 海岸公園事業所 七北田公園管理事 務所